

第2次日高市環境基本計画(後期計画)(案)に対する市民コメントの募集結果

意見募集期間: 令和7年11月17日(月)から12月16日(火)まで 人数及び意見数: 意見提出者 8人(提出意見 25)		
No	寄せられた意見	市の考え方
1	<p>おおむね良いと感じました。 ※気になった点 A: 修正および加筆希望【太字にしました】 B: 文字揺れ(表記統一)⇒私が原稿書きに活用している「記者ハンドブック」を参照</p> <p>◎P1 (1)環境基本計画 1L目 様々な⇒さまざまな B ◎P2 ①地球温暖化関連 3L目 1850年の前に「江戸時代末期の」を加筆 A ◎P2 ①地球環境関連 5L目 「1・1℃上昇している」に変更 A ◎P2 ①地球温暖化関連 6L目 「国連気候変動枠組み条約第21回締結国会議」に変更 A ※環境省表記は「国連気候変動枠組み条約第21回締結国会議」 新聞表記は「国連気候変動枠組み条約第21回締結国会議」ですが、新聞表記を採用 ◎P2 ③廃棄物関連 4L目 「4R」を加筆 A ◎P3 1L目 一人一人⇒一人ひとり B ◎P3 ④生物多様性関連 8L目 生物多様性枠組⇒生物多様性枠組み A ◎P4 ⑤SDGs 5L目 始めとした⇒はじめとした B ◎P9 ⑤SDGs 9L目 様々な⇒さまざまな B ◎P9 下図 八高線・川越線高麗川駅、川越線武蔵高萩駅は書かれているが、西武秩父線の高麗駅、武蔵横手駅は書かれていないのはなぜか？ A ◎P14 基本目標1 2L目 こども⇒子ども B【新聞表記では子供もあるが、文部科学省表記は子ども】 ◎P15 基本目標2 鳥獣対策事業で11/19、市は横手地区でクマの目撃情報を公表したが、クマ対策は？ A ※市は11月に市内横手地区でクマが出没した情報を公表して新聞記事になったが、クマ対策は？ ◎P15 基本目標 8L目 あき地⇒空き地 B ◎P15 基本目標4 2L目 ダイアブラン5市⇒埼玉県西部地域まちづくり協議会(所沢市・飯能市・狭山市・入間市・本市)を加筆 A ◎P22 ③関心のある環境問題 5L目 全て⇒すべて B ◎P28 生活環境 6L目 空家⇒空き家 B ◎P32 1)計画の背景と目的 3L目 一人一人⇒一人ひとり B ◎P39 1)計画の背景と目標 3L目 様々な⇒さまざまな B ◎P39 1)計画の背景と目標 5L目 一人一人⇒一人ひとり B ◎P41 気象災害の発生状況 2L目 「自然災害が比較的少なかった」を加筆(市は有史以来、大きな自然災害は記録されていないため) A ◎P44 本市のごみの排出量の推移 3L目 概ね⇒おおむね B ◎P47 動植物 1L目 「コナラ、クヌギ、イヌシデ、ヤマザクラ…」に「ケヤキ」を加筆 A ◎P47 動植物 5L目 様々な⇒さまざまな B ◎P52 4か所 ⇒ カ ◎P54 II)数値目標～ 2L目 概ね⇒おおむね B ◎P55 取組方針2 表 空家リスク⇒空き家リスク B ◎P55 取組方針2 空家・空き地⇒空き家・空き地 B ◎P56 求められること 1L目 一人一人⇒一人ひとり B ◎P63 環境配慮指針とは 2L目 一人一人⇒一人ひとり B ◎P64 市が取り組むこと 5L目 活かし⇒生かし B ◎P67 3L目 遵守⇒順守 B ◎P73 市が取り組むこと 1L目 遵守⇒順守 B ◎P73 事業者が取り組むこと 1L目 遵守⇒順守 B ◎P74 市が取り組むこと 3L目 空家⇒空き家 B ◎P74 市が取り組むこと 5L目 空家⇒空き家 B ◎P74 市民みんなで取り組むこと 3L目 空家⇒空き家 B ◎P75 市民みんなで取り組むこと 1L目 こども⇒子ども B</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>文字表記の揺れや記載内容の補足・加筆に関するご要望につきましては、計画全体の構成や他の記載内容との整合性に配慮しながら、可能な限り計画内容に反映し、併せて、計画の趣旨や施策の方向性が正確に伝わるよう、表現の整理や説明の充実を図ってまいります。</p> <p>計画の最終的な取りまとめに当たっては、行政計画としての正確性、客観性及び統一性を確保する観点から、関係法令や上位計画との整合を確認するとともに、行政機関において一般的に用いられている用語や表現を用いて整理を行います。</p> <p>また、クマ対策につきましては、市民の皆様生命及び生活環境の安全確保の観点から、重要な課題であると認識しております。</p> <p>近年、全国的に生活環境周辺におけるクマの出没事案が発生しており、ご指摘のとおり市内においても目撃情報が寄せられているところです。</p> <p>今後は、関係機関と連携しながら、出没時における対応方針や体制の整理を早急に進め、引き続き、市民の皆様安全・安心な生活環境の確保に努めてまいります。</p> <p>また、本計画においても、有害鳥獣による生活環境被害防止に関する記載を含めるよう検討いたします。</p>
2	<p>11ページ 「総人口の減少と反比例して世帯数は増加」と記載されているが、想定される理由を追記した方が良いと思います。(例えば、子育てが終わり、子供たちが独立し市外に転出しているからなど)</p> <p>13ページ 第2次産業および第3次産業の事業所数が減少しているのに、従業員数が増加している想定される理由を追記した方が良いと思います。(例えば、市外からの移動に伴う従業員数の増加など)</p> <p>37ページ 専門用語「FEMS、BEMS、HEMS」などについては用語解説が必要と思います。</p> <p>39ページ I)計画の背景と目的 の章の6行目 含まました(誤)⇒包含しました(正)</p> <p>50ページ 取組方針3:生物多様性の保全 表中の2. 外来生物の防除を推進します の項の3段目の産業動物の後ろについている * マークを受ける説明文が無いので追記をお願いします。</p> <p>51ページ 大気質グラフ 光化学オキシダントが増加傾向にあるため、想定される理由を追記した方が良いと思います。また日本の環境基準は「昼間(5時～20時)の1時間値が0.06ppm以下」となっているため、年平均0.037ppmに対し、環境基準値0.06ppmを超えていないことを確認してください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>文字表記の誤りについては修正いたします。</p> <p>また、用語解説を資料として掲載いたします。</p> <p>記載内容の補足・加筆に関するご要望につきましては、計画全体の構成や他の記載内容との整合性に配慮しながら、可能な限り計画内容に反映し、併せて、計画の趣旨や施策の方向性が正確に伝わるよう、表現の整理や説明の充実を図ってまいります。</p> <p>ご指摘の光化学オキシダントについては、環境基準を超えていないことを確認しております。</p> <p>様々なご指摘ありがとうございました。</p>
3	<p>計画案に関しては、特に意見なし</p> <p>(お願い)</p> <p>○有害化学物質の悪影響について、皆様にもっと知ってもらいたいと思います。 コロナ以降、殺菌作用増大した洗剤等が出てきましたが、重症なアレルギーが起きたりしています。 環境にも優しい洗剤や石鹸の使用を勧めていただきたいです。</p> <p>○日高市ではありませんが、リサイクルゴミの古布とても驚くようなものが出されています。 日高市の業者さんのところはどのようなのでしょうか？ 仕分けて廃棄する方が多いようなら、市民への伝え方ももう一度考えてみた方が良いかもしれません。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>有害物質が環境や人の健康に及ぼす影響について市民の皆様理解を深めていただくことは、環境保全の推進において重要であると認識しております。</p> <p>環境への負荷に配慮した日常生活に関するご提案につきましては、市民の皆様が環境保全について考えるきっかけとなるものと受け止めております。今後、環境に配慮した行動に関する情報提供の在り方について、広報媒体や啓発手法等を含め、検討してまいります。</p> <p>また、古布等の廃棄方法に関する周知につきましては、資源循環やごみ減量の観点から重要であることから、広報・ホームページでの周知に加え、分別ガイドブックの発行、集積所における立哨指導などを行ってまいります。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、市民の皆様環境意識の向上につながるよう、引き続き適切な情報提供や啓発に努めてまいります。</p>

意見募集期間: 令和7年11月17日(月)から12月16日(火)まで 人数及び意見数: 意見提出者 8人(提出意見 25)		
No	寄せられた意見	市の考え方
4	<p>(前期計画 P1～26 取り組み状況) グラフ等の作成は大変見やすくわかりやすいです。 基本目標、取組方針ともに適正と思います。 具体策は不足しています。</p> <p>(後期計画 P27 第4章) 再生可能エネルギー 他の計画と異なり、お金がかかることなので、市の計画に補助などが必要と思われるが、どの計画にも具体案が出ていない。 →絵にかいたもち！！</p> <p>(施策の展開 P49 3) 農業従事者がへっている 施策の中に、農業大学校への働きかけや、農業者への聞きとりなど、具体的にしてほしい。 市民農園はキボが小さすぎる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画におけるグラフや目標の設定につきまして、前向きなご評価をいただきありがとうございます。</p> <p>具体的な取組内容についてのご指摘についてですが、本計画は、市全体の環境に関する施策の方向性や目指す姿を示す全体計画として位置付けており、個別の取組内容や実施方法につきましては、今後策定する実施計画等の中で、段階的に整理していきます。</p> <p>再生可能エネルギーの普及につきましては、市といたしましても、導入に一定の費用負担を伴うことから、支援策が必要であると考えており、現在、関係制度や他自治体の取組事例等を参考にしながら、支援策について検討を進めております。</p> <p>本計画においては、現段階で具体的な支援制度等を盛り込むことはできませんが、今後の検討状況を踏まえ、周知を図ってまいります。</p> <p>農業従事者の減少につきましては、農業大学校や農業者と調整を行いながら、新規就農者の支援を行っております。</p> <p>市民農園については、現状、申込者と面積のバランスがとれているため、規模を大きくすることは考えていません。</p> <p>今後の状況により、ご意見を参考にさせていただきます。</p>
5	<p>計画案は良く出来ていると思います。</p> <p>私が日高に居住した事は、子育てに良いところでした。 駅があり、病院・商店・学校と森や小川・公園を緑が多く空気がおいしい事でした。 ホテルや目高等日高の自然を守って下さい。</p> <p>住民が増えるごとゴミの問題もおこります。行政も大変な事でしょう。私達も協力しなければいけないのです。紙おむつを布に変えたり、リサイクルには協力できるはずです。私達が住み良い地域を作らないと思っています。</p> <p>空家については行政で出来る事は何か。大きな問題ですが力を入れて日高の財産に成る様に行政の中に不動産かと言うか(下水道局の様に)絵に描いて見ませんか。行政の力を信じています。楽しく仕事をしましょう。夢みたいなことを言ってごめんなさい。がんばってください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本計画(案)につきまして、ご評価をいただきありがとうございます。 また、本市の子育て環境や生活利便性、緑豊かな自然環境についてご評価をいただいたことを大変ありがたく受け止めております。</p> <p>ホテルやメダカなど、本市ならではの自然環境を将来にわたり守っていくことは重要な課題であり、今後も自然環境の保全と生活環境との調和を図りながら、各施策を推進してまいります。</p> <p>併せて、ごみ問題につきましても、市民の皆様のご協力が不可欠であることから、リサイクルや適正なごみ排出に関する周知・啓発に引き続き取り組んでまいります。</p> <p>また、空き家対策につきましては、現在、空き家・空き地バンクの運営を行い、空き家等の有効活用や定住促進に取り組んでいるところです。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりに向けて、引き続き施策の推進に努めてまいります。</p>
6	<p>お世話になります。 どこをどこというわけではなく、全体を読んで…人間社会が便利になったことと、自然を守ることの両立の難しさを、実感しました。</p> <p>エコな暮らしをするためには、費用も時間もかかります。でもこのままでは、どんどん自然が壊されていくので、やはり根気よく周知していくことが、大事だと思いました。</p> <p>子供たちへの啓蒙に関しては、たくさんやって来ていていらっしやって、本当に大変だと思いますが…小中一貫教育で空いた校舎を使って、わかりやすいモデル施設を作る、子供たちが幼少の頃から楽しみながら、エコな気持ちを持ってようになっていけたら良いかと…</p> <p>地球は人間だけのものではないので、動物たちとの共存も考えたいです。</p> <p>山の上の方に、餌場を作り…ドローンで食べ物落とすことも、必要かと…。</p> <p>取り留めもない話ですみません。 宜しく願い致します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、環境保全の取組につきましては、短期間で成果が見えにくい側面もあることから、市民の皆様に対して継続的に周知・啓発を行っていくことが重要であると認識しております。 特に、ご評価いただきました。次世代を担う子どもたちへの環境教育や啓発については、今後も関係機関と連携しながら継続して取り組んでまいります。</p> <p>また、人と自然、動物との共存につきましても、本市の豊かな自然環境を守っていく上で重要な視点であることから、生態系への配慮や生活環境との調和を意識した取組を進めてまいります。</p>
7	<p>1、資料内の年度の表現方法 資料内に於いての年度表示に付いては、全て西暦と元号の併記として頂きたい。 可也の部分で併記になっているが、元号部分が所々残っているのと、表やグラフ資料に元号のみが残っている。 環境基本計画は、地球レベルや世界レベルの表現が冒頭より表現されている状況では、全て西暦表現の方が理に叶っていると思います。</p> <p>2、騒音問題に付いて 車やバイクの走行中の騒音について、車種によって可也の個体差を感じております。 爆音を楽しむ様な車種もあると思うが、スポーツタイプの車やバイクの爆音を無くして欲しい。 車両製造時からの規制が必要かと思ひます。定期点検も含め。</p> <p>3、近年の耕作放棄地 身近では田圃の耕作放棄地が目立って来ている。水田は乾燥する事で雑草が生え、やがては樹木の侵入となり、回復させるのに苦慮する事になる。 多少でもそれを防ぐ為に、夏季に於いて河川からの水を流入させる等の良い方法はないものか。それによって水辺環境や生物多様性環境作りに貢献できると思ひます。 耕作放棄地としては、畑も同様で背の高い雑草から樹木へと変遷して行く状況を多くの場所で見かけます。 対策として地主や管理者に依頼はされているでしょうが、担い手の居なくなった場合の対応を検討して頂きたい。</p> <p>4、炭酸ガス削減・炭酸ガス吸収 現在環境関係の最大の課題は、地球温暖化対策の為に炭酸ガス排出量の削減、それにはエネルギーとしての化石燃料使用量の削減が必要と成ります。 文化的な生活は其れなりに維持したい訳ですから、先ずは省エネ機器使用や省エネ活動を積極的に実施して、省エネを強力に推進する事が必要です。 但し排出されてしまった炭酸ガスの吸収に対する対応策が、まだまだ弱いと思ひます。 炭酸ガス吸収は、海洋等それから地上では専ら植物による光合成によって、吸収される訳ですから、今更の事ですが森林や緑地の増進と管理が必要と思ひます。</p> <p>5、再生可能エネルギーの留意点 再生可能エネルギー生産には、それらの為に必要な機器や設備の製造・維持管理・処分までを考慮した上での効果の検討が必要と思ひます。 現状では、多くの再生エネルギー設備や機器等に環境面・品質面・特定国の製造時の労働問題等が問題視されている。</p> <p>6、浄化槽管理の適正化 個別の浄化槽使用に対して、市として適正なアピールはされていると思ひますが、今後も確実に継続して頂きたい。 浄化槽からの排水が側溝に流れて、悪臭を放っているところに出会うことがあります。 各区長に対して悪臭問題に付いて、アンケート等を募集する事が望ましいと思ひます。 汚水排水に付いては、側溝だけでなく河川に付いても同様と思ひます。</p> <p>宜しく願い致します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>年及び年度の表記については、ご指摘のとおり、固有名詞等を除く可能な範囲で西暦・和暦の併記に改めます。</p> <p>車やバイクの騒音、耕作放棄地への対応、二酸化炭素排出の削減・吸収、再生可能エネルギーの在り方、浄化槽に関するご指摘など、生活環境や自然環境に関わる多岐にわたるこれらのご意見は、市民の皆様の実感に基づく重要なご指摘であり、今後の環境施策を検討していく上で参考とさせていただくべき視点であると認識しております。</p> <p>例えば、炭酸ガス削減・炭酸ガス吸収については、カーボンニュートラル実現のため、環境教育、環境イベント、省エネ家電への補助金交付、日高市省エネガイドブックの公開など様々な取組を進めてまいりましたが、ご指摘のとおり、強力な省エネの推進による削減策、森林や緑地の増進による吸収策ともに、今後の課題であると感じています。</p> <p>本計画は、市として目指す環境施策の基本的な方向性や考え方を示す全体計画であり、個別の対応方法や具体的な事業内容については、今後策定する実施計画や関係施策の中で、段階的に検討・整理します。</p> <p>いただいたご意見については、今後の検討を進める上での参考にさせていただきます。</p>

意見募集期間: 令和7年11月17日(月)から12月16日(火)まで 人数及び意見数: 意見提出者 8人(提出意見 25)		
No	寄せられた意見	市の考え方
8	<p>1 全体を通して 本計画は行政が策定するもので公用文に該当します。公用文の作成に当たっては基準やガイドラインがあります。 ① 正確に書く、分かりやすく書く、気持ちに配慮して書く。環境施策を推進する上で、市民にとって分かりやすい計画となるよう性上げてください。 ② 常用漢字表に原則拘束されます。平仮名が妥当かと思われる言葉の表記については、よく検討してください。 「ともなう」⇒「伴う」 「心がけ」⇒「心掛け」など ③ 同じ読みでもニュアンスが異なるものがあります。再度妥当性を十分検討し使い分けしてください。 「越える」と「超える」 「恐れ」と「おそれ」 「はじめ」と「始め」など ④ 文章文末の処理については、意図されているか分かりませんが、再度見直しをしていただきたいと思ひます。 「推進していきます」と「推進します」 「努めていきます」と「努めます」など ⑤ 「等」「など」は、本当に必要かどうかよく見てください。 ⑥ ほかの文献、計画書などから引用した部分は、引用元が分かるように配慮してください。 ⑦ 策定事務局、各部署において、文章、言葉など適切なものとなっているか、再度見直しをしていただきたいと思ひます。 ⑧ 内容については現在総合計画後期基本計画策定中なので、これと整合させてください。</p> <p>2 統計上の表現 各種調査や市民・事業者アンケートのデータが詳細に記載されています。量などの実数、各種割合の比較について、「増加」「減少」「上昇」「多く」などの表現について、統計データ全体を通して、再度妥当性を調整・整合していただきたいと思ひます。 また、文章が長いものも散見されるので、簡素化を検討されたらと思ひます。</p> <p>3 計画の周知 (説明会の開催) 本計画P57にあるように、前期計画の認知度は7割以下です。 計画を策定するまでには、アンケート調査、庁内や審議会での議論などを通じて、多くの予算や時間をかけて策定されています。一生懸命努力して策定されても市民や企業に周知され認識されなければ、費用対効果はゼロです。令和8年度から本計画と総合計画後期基本計画(政策秘書課)、まち・ひと・しごと創生総合戦略(政策秘書課)、男女共同参画プラン(総務課)が同時期にスタートします。来々4月末頃から各公民館で市民や企業への説明会の開催を提案します。いくらいいことが書いてあっても市民や企業の協力や理解が進まない計画の理念は浸透しないと思ひます。単独での開催でもよろしいかと思ひます。 上記のことと重複しますが、環境への意識を高めていくためには、市民、企業を巻き込んでいく必要があります。 行政としては、福祉、教育、産業などのあらゆるセクションで、自治会の集まり、各種会議などの機会を通じて、地道に意識啓発を行っていくことが早道かと思ひます</p> <p>4 第6次日高市総合計画後期基本計画実施計画との関係 後期基本計画と本計画は計画年度が重複しています。令和7年度の実施計画では「清流保全対策事業」などが【LP】として位置付けられています。令和8年度以降、本計画の基本目標に基づき各種事業が実施されると思ひますが、財政が大変厳しい中、それぞれの事業で必要性、効率性、有効性などを勘案しながら事業を実施していただきたいと思ひます。また、常にどうすれば効果が上がっていくかを考えながら進めていっていただきたいと思ひます。</p> <p>5 計画の進捗管理と評価 PDCA サイクルによる計画の推進とあります。この中で、評価については例えば、啓発活動を何回行った、参加人数などのアウトプットではなく、意識や行動が変わった、改善されたかなどのアウトカムに着目した評価をしていってほしいと思ひます。 ソフト事業の場合、評価が難しいですが、最大限費用対効果が上がるよう努力していただきたいと思ひます。</p> <p>6 基本目標1 【地球環境】 取組方針3 日高市雨水の利用の推進に関する計画</p> <p>集中豪雨等に伴い、雨水が短時間に河川や下水道に流出することを抑制する対策です。都市部では流出係数が高く、河川や下水道の流下能力を超えてしまうことによって発生する災害です。近年頻発しており、本年9月にも四日市市で地下駐車場が水没してしまった事故などもそうです。この事故では防水扉が機能していなかったという話もあるようですが、いずれにしても大変なことです。 計画にも述べられていますが、これらについての意見です。</p> <p>1 中水利用、雨水貯留施設について 雨水を貯留して、トイレの洗浄水として利用、庭への散水などは環境にやさしい政策になると思ひます。しかしながら、規模にもよりますが多額の初期費用、維持管理費用が見込まれ、水質の管理なども求められます。一方でそれに比較して上水道料金の方が一般的に経済的と言われ、水質も保証されます。 導入の条件は大変難しいと思ひますが、「雨水の中水利用に努めます」と残しますか。目標を高く掲げることも大事で、周知を図るという意味もあると思ひますが、検討してください。</p> <p>2 透水性アスファルト舗装について 都市型水害の抑制で道路や駐車場などで行われている舗装です。新設工事や修繕工事も含めてです。市役所でも実例があるそうですが、これも行政が率先していかないと、例えば「スーパーの駐車場などに施工してください」という開発指導でも実現は難しいと思ひます。</p> <p>上記、雨水の利用や対策についての意見です。計画の位置付けについて検討してください。</p> <p>7 環境に配慮したまちづくりの進展 市民一人一人は環境への知識を持つことではなく、意識の向上による行動が重要で、環境問題はどれも深刻で課題山積です。今回の環境基本計画をもとに、職員一丸になり、市民・企業を巻き込んで環境に配慮したまちづくりが進展することを期待します。</p> <p>11については、まとめたの回答で結構です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>(1～5について) 本計画における内容、文書、グラフ・表等の統計上の記載などについては、ご意見のとおり、日高市総合計画後期基本計画との整合性を図りつつ、市民の皆様にとって分かりやすいものとなるよう見直してまいります。 指標については、より客観性を高めることや、日高市総合計画後期基本計画との整合を図るためにアウトプット指標を採用することといたしますが、市民の皆様の意識や行動の変化については環境施策を展開する上で重要なものですので、イベントの際のアンケート等によって随時確認するよう努めてまいります。</p> <p>また、ご指摘のとおり、計画についての認知度が低いことは課題であると考えております。今後、広報やホームページ等を用いることを基本とした、分かりやすい情報提供の在り方について検討します。</p> <p>(6について) ○中水利用、雨水貯留施設について ご指摘のとおり、雨水浸透施設や雨水貯留施設の設置は、本来、雨水の敷地外への流出を防ぐ目的で行っているものであり、二次的なものである災害対策等への利用は費用面当て課題があります。 周知の意味もありますが、今後の重要な検討課題として記載を残します。</p> <p>○透水性アスファルト舗装について 透水性アスファルト舗装については、各基準等に基づき、市で設置する歩道等で利用しております。また、開発指導においても、適切に施設内で排水するための選択肢の一つとしているところです。 雨水災害の防止には他にも選択肢があるため、本計画に明記はいたしません、今後も災害の防止のため、適切に利用してまいりたいと思ひます。</p> <p>(7について) ご指摘のとおり、環境に配慮したまちづくりを進めていくためには、市が、市民や事業者の皆様と連携し、知識の習得のみではなく、意識を向上していくことが重要です。 いただいたご意見を参考に、引き続き、持続可能なまちづくりの推進に努めてまいります。</p>